堂々巡りして出口の見えない

IWC迷路

※**決議**とは、ミンク鯨が捕れなくなってから、小型捕鯨業者やその4つの町の人たちの生活が、仕事や食事の面で深刻な影響を受けて、それに伴うストレスが著しく、また、地元の経済も苦しい状況になっている事をIWCが認めたものです。同時に状況を少しでも改善するために議論をうだうだと先延ばしにするのではなく、速やかに決定をしましょうという事を決めたものです。

ミンク鯨が捕れなくなってから今年で15年目。
小型捕鯨業者や町の人々のいら立ちがつのる一方、
IWCがやってきたのは、
「早く問題解決のための行動をします!!」という口約束を
重ねるだけでした。人々の正当な要求は、
見て見ぬふりをしてきたのです。
これほど無責任な国際機関が他にあるでしょうか？

ミンク鯨は増えすぎて漁師さん達が困っているくらいなのに、どうして捕ったらいけないんだろう？

いったいいつになったらミンク鯨はとれるんだろう！

スタート

1回目の要求
先送り

そこで、ミンク鯨を捕らせて下さいとIWCにお願いしましたが、結論がでず、議論が翌年に持ち越されてしまいました。

1988年・40回
ニュージーランド・オークランド

商業捕鯨モラトリアムが日本の沿岸で発効して、この年から沿岸のミンク鯨操業が停止されました。

2回目の要求
先送り

またも、結論がでず、さらに翌年に持ち越されました。

1989年・41回
米国・サンディエゴ

3回目の要求
否決

50頭の捕獲枠要求が初めて投票されましたが否決されてしまいました。

1990年・42回
オランダ・ノートルベイク

4回目の要求
否決

またも投票で否決されてしまいました。

1991年・43回
アイスランド・レイキャビック

5回目の要求
否決

またまた、投票で否決されてしまいました。

1992年・44回
英国・グラスゴー

6回目の要求
否決

この年も要求は否決されましたが、その代わり**決議**※が全会一致で採択されました。

1993年・45回
日本・京都

7回目の要求
否決

前年の決議を受けて期待は高まりましたが、結局またもや否決されてしまいました。

1994年・46回
メキシコ・ブエルトバヤルタ

8回目の要求
否決

日本が提出した捕獲枠が認められたらどのようにそれを管理するかを定めた計画案を、IWCは「いい案だ！」と褒める決議をしましたが、捕獲枠要求自体は投票の結果再び否決され、計画案は、「絵に描いたもち」になってしまいました。

1995年・47回
アイルランド・ダブリン

9回目の要求
否決

またもや捕獲枠要求は、否決されましたが、文化人類学などの専門家を招いてワークショップを開催する事が決まりました。

1996年・48回
英国・アバディーン

1997年
ワークショップ
日本・仙台

「IWCは、速やかに問題解決を図るべきだ」という45回のIWC決議が再確認されました。

1997年・49回
モナコ・モンテカルロ

10回目の要求
否決

ワークショップの勧告にも関わらず、投票で否決されました。

1998年・50回
オマーン・マスカット

11回目の要求
否決

またも否決されました。

1999年・51回
グレナダ・セントジョーンズ

12回目の要求
否決

またまた否決されました。

2000年・52回
オーストラリア・アデレード

13回目の要求
否決

また、また、また、否決されましたが、45回の決議を再確認しました。

2001年・53回
英国・ロンドン

14回目の要求
否決

前回と全く同じ結果となり捕獲枠要求は、否決されましたが、45回の決議をまた再確認しました。

2002年・54回
日本・下関

否決

今年もまたIWC迷路からぬけだせないのかな？

可決

今年はゴールできるかな？

ゴール
ミンク鯨
捕獲枠50頭